

四中だより



平成29年7月13日

第4号

市川市立第四中学校

校長 山元 幸恵

魅力いっぱいの体験学習

7月1日のオープンスクールでは、午前中の授業参観に続き、午後からは四中恒例の「体験学習」が実施されました。様々な特技をお持ちの地域の方々が講師となり、生徒たちの指導にあたってくださいましたが、どの会場でも、真剣に作業や運動に取り組む生き生きとした生徒たちの姿を見ることができました。

この「体験学習」については、講座の開設から講師との連絡調整、生徒の割り振り、そして当日の運営と、担当の保護者の方々の全面的なご協力により実施しております。暑い中、本校の生徒のために一生懸命講師を務めてくださった地域の方々、そしてご支援くださった保護者の方々には、心より感謝申し上げます。

輝け四中生！部活動壮行会を行いました

7月5日、夏の総体やコンクール等での各部活の健闘を祈って、生徒会主催の部活動壮行会が開催されました。プラカードを持つ女子に先導され、ちょっと照れながらも誇らしげな表情で入場した各部活生からは、目標や部活にかける熱い想いが語られました。それに応えるように、この日のために結成された応援団のリードの下、一般生徒からは、「エールと校歌」で部活生への激励が行われましたが、健闘を祈る熱い思いが素直に伝わってくる素晴らしい応援でした。部活生の皆さんには、これまで積み上げてきた力を精一杯発揮して、自分らしく輝いてほしいと願っています。

第2回学校運営協議会・少年健全育成連絡協議会を開催

7月6日、四中ブロック3校（若宮小・中山小・四中）合同で学校運営協議会を開催しました。今回は、四中ブロックが推進している小中連携の取組について説明、さらに地域とのパイプ役を担っていらっしゃる学校支援コーディネーター3名から、現在の取組状況と今後の方向性について、ご説明いただきました。委員からは、義務教育9年間を見通した教育活動を展開することは、大変重要である、体育祭や音楽祭などでさらに連携を深めることもできるのでは、といったご意見をいただきました。

学校運営協議会に続き、自治会や子ども会、補導員、PTA関係者など、日頃より生徒の健全育成にご尽力いただいている方々に加わっていただき、少年健全育成連絡協議会を開催いたしました。喫緊の課題である「SNSに関わるトラブル」について、市川市少年センター所員より具体例を挙げて説明があり、「保護者には、SNSの危険性について十分理解し、家庭内ルールをきちんと定めてほしい。親の見えない所で、誰もが被害者にも加害者になる可能性がある。」とのお話がありました。また、各自治会等が実施している行事やパトロール、自転車の危険性などについて、活発に情報交換が行われました。生徒たちを見守り育てくださっている地域の方々が大勢いらっしゃることを、改めて実感する一日となりました。

いよいよ夏休み！

3年生はもちろんですが、1・2年生にとっても「夏休み」という貴重な時間をどう過ごすかは、9月からの学校生活に大きな影響があります。「成りたい自分」に近づくために「この夏、これだけはしっかりとやりぬく」という目標を持ち、一日一日を有意義に過ごしてほしいと思います。

夏休み中の事故を防ぐために 以下の行為は絶対にやめよう！

自転車の二人乗り・友人宅への外泊・生徒のみのカラオケや花火・深夜俳諧

SNS（自分や友人の個人情報の掲載 長時間の使用や課金 不適切な書き込み）